

相手の目を見て元気よく 善通寺南部小で話し方教室



内海さん(左端)のアドバイスを受けながら話し方の練習をする児童たち
—善通寺市生野町、南部小

象に順次行っており、この日は6年生と2年生がそれぞれ受講した。

6年生の授業には、児童29人が参加。日本サービスマナー協会講師の内海加奈子さんから「相手の目をしつかりと見て話そう」「声は『少し大きいか』と自分で感じるくらいがちょうどいい」などとアドバイスをを受け、冬休みの思い出や家族の自慢を盛り込んだ自己紹介に挑戦していた。

特別授業後、真鍋心陽さん(12)は「教わった話し方

や姿勢、目線を思い出して、これからは大勢の前でも上手に発表したい」と話していた。

子どもの話す力を伸ばす特別授業が15日、善通寺市

手に伝わりやすい話し方を学んだ。

生野町の南部小学校(有岡

特別授業は、あらゆる場

孝子校長)であった。児童

面で役に立つコミュニケーション

は口を大きく開けたり、目

ジョン能力を高めるのが狙

線に気を付けたりして、相

い。同校では全校児童を対